

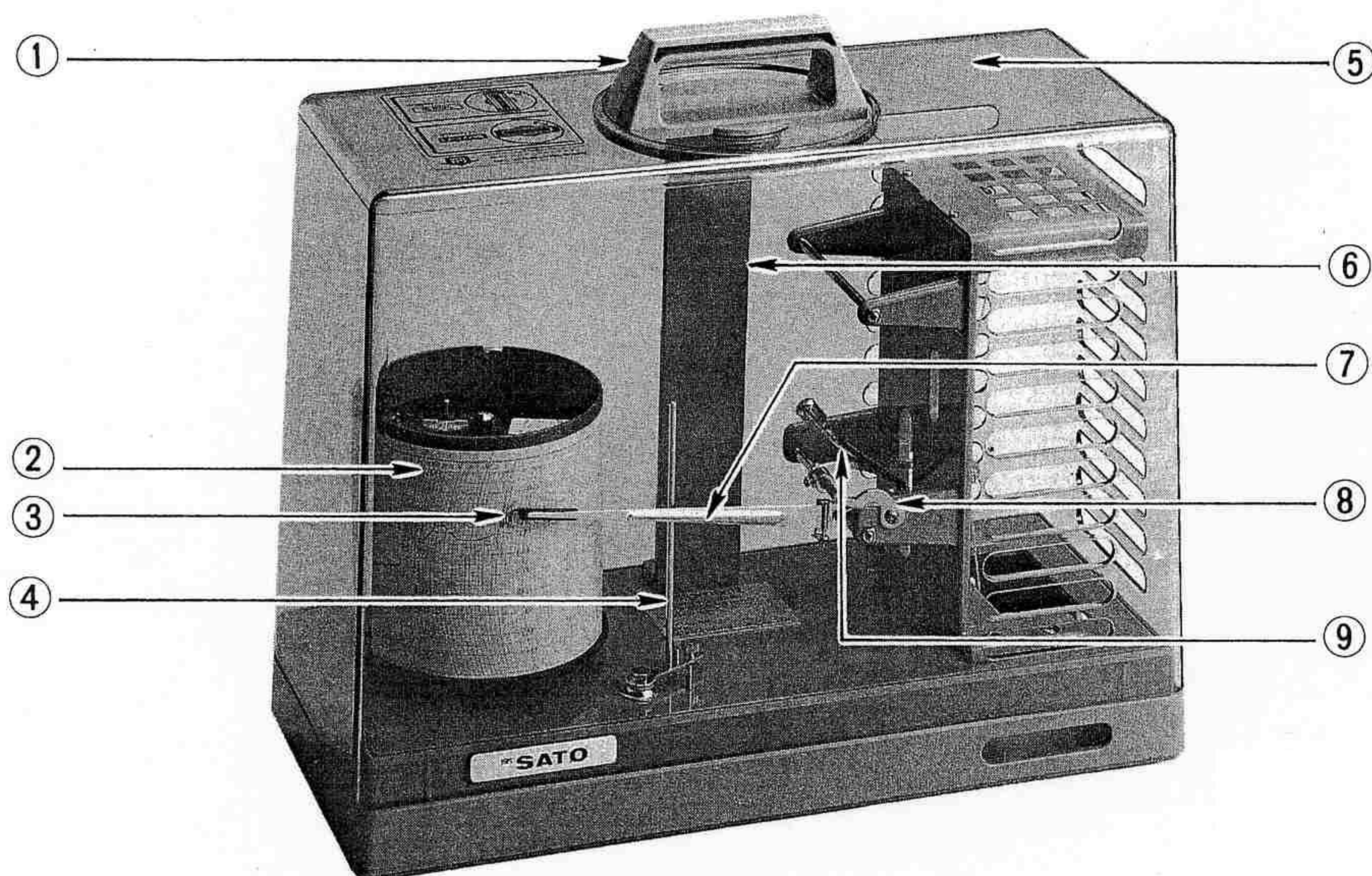
No. 7234

Sigma-II 湿度記録計

シグマ II 型

●各部の名称

- 1. キャリングハンドル
- 2. 円筒時計
- 3. 湿度計ペン先
- 4. ペン上げ棒
- 5. ケース
- 6. 支柱
- 7. ペンアーム
- 8. 湿度微調整ネジ
- 9. 拡大機構



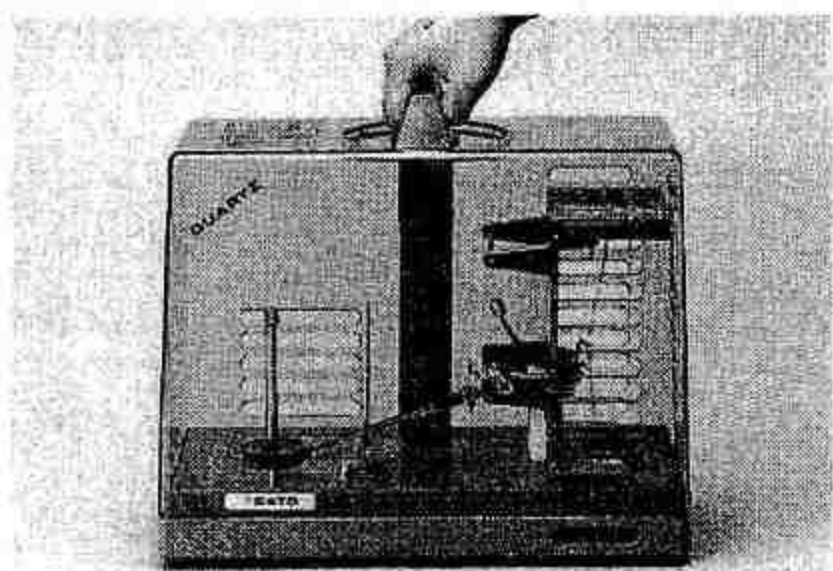
検査成績表
取扱説明書

SK SATO KEIRYOKI MFG. CO., LTD.

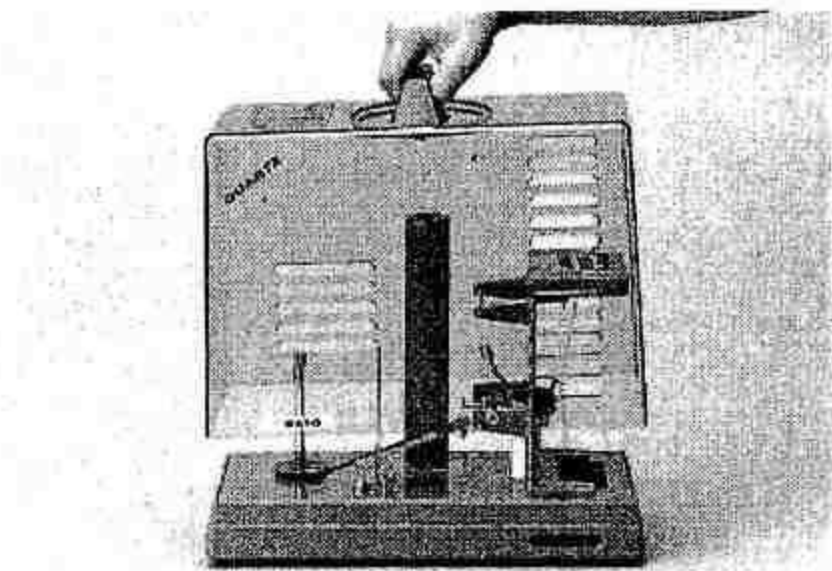
《ご使用にあたって》 次の順序でご使用を開始してください。

輸送用メカ部固定スチロールをはずします。

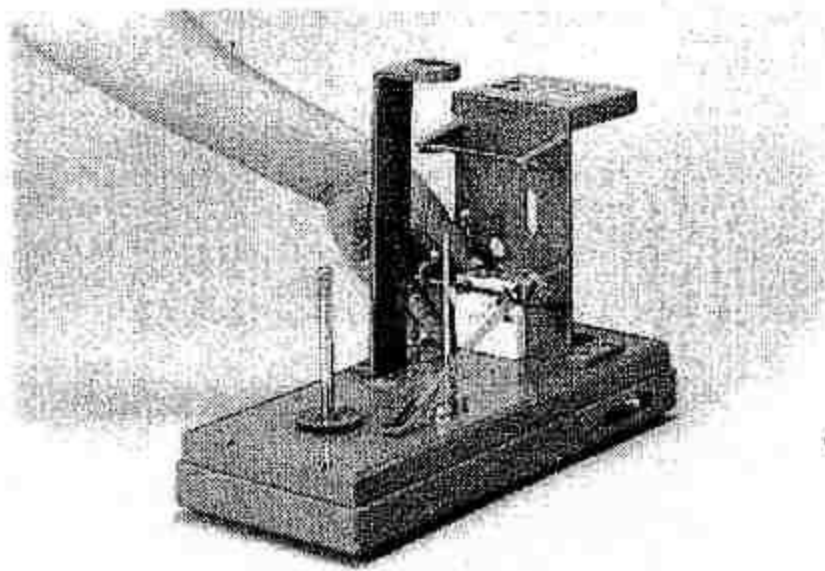
円筒時計の記録紙を交換します。



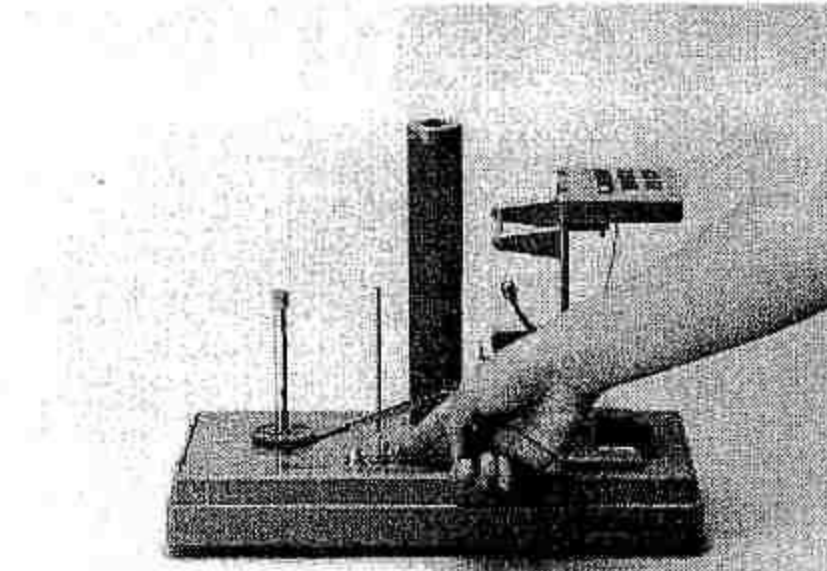
1. キャリングハンドルを左に、止まるまで回す。



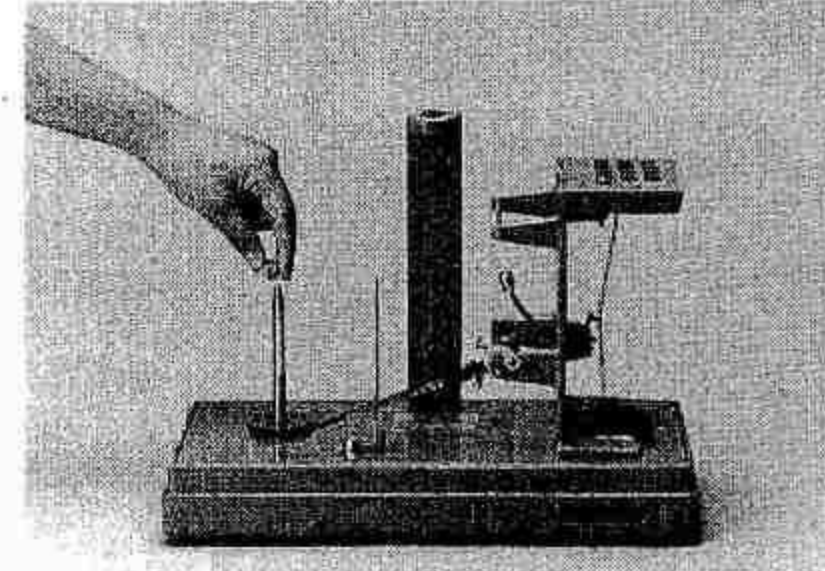
2. そのまま持ち上げて、ケースをはずす



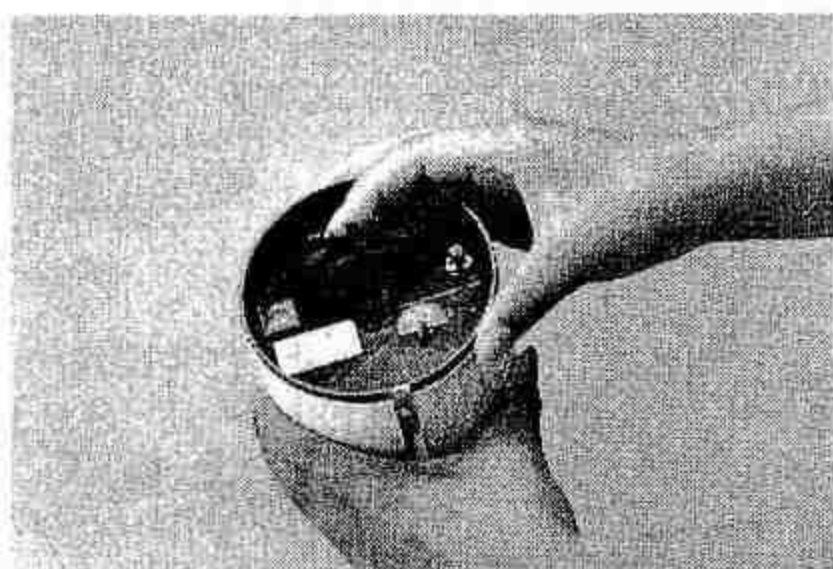
3. 輸送用固定スチロールをはずす。



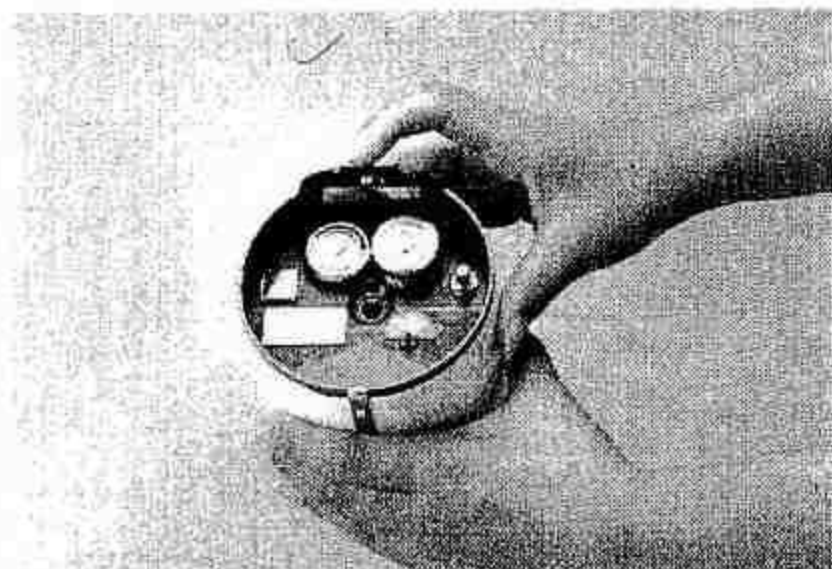
4. ペン上げツマミを手前に、止まるまで引く。



5. 円筒押えネジをはずす。



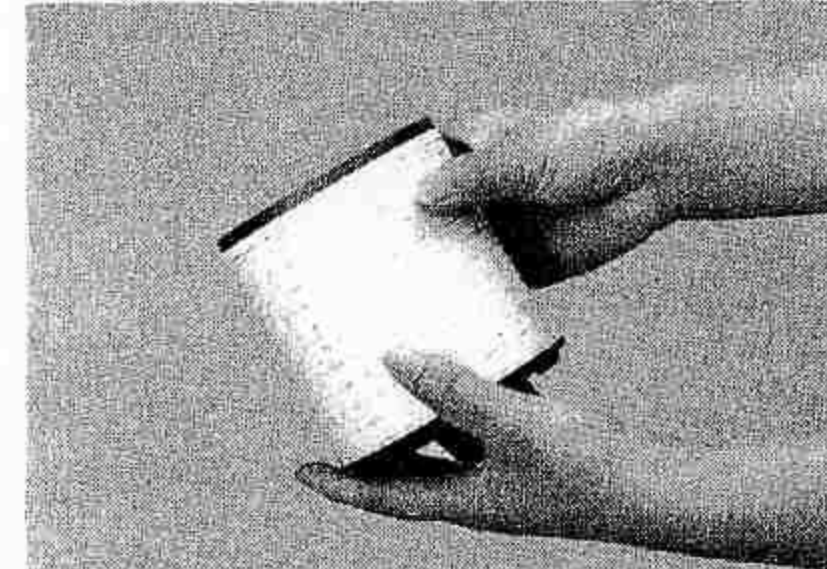
6. レバーを中心方向に押しながら持ち上げ、電池ぶたを開ける。



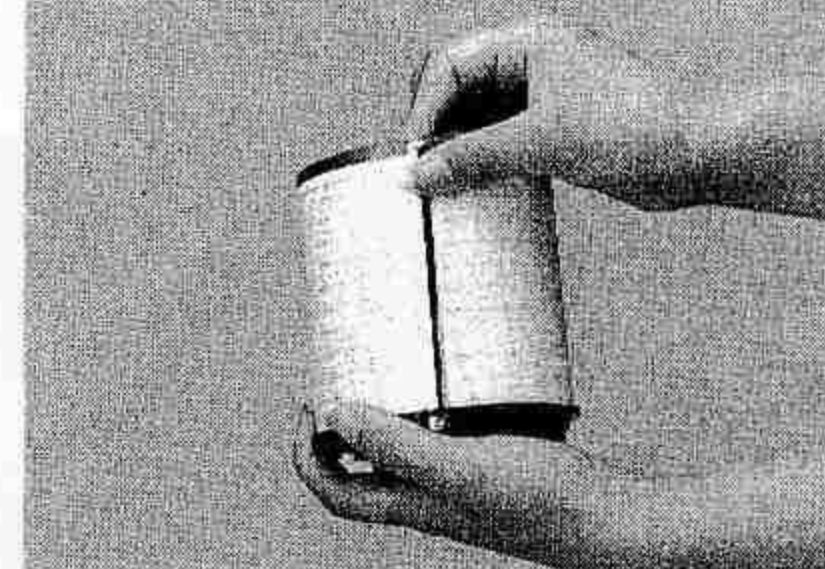
7. 電池の⊕⊖に注意し、円筒時計に確実に入れる。そして電池ぶたを閉じる。



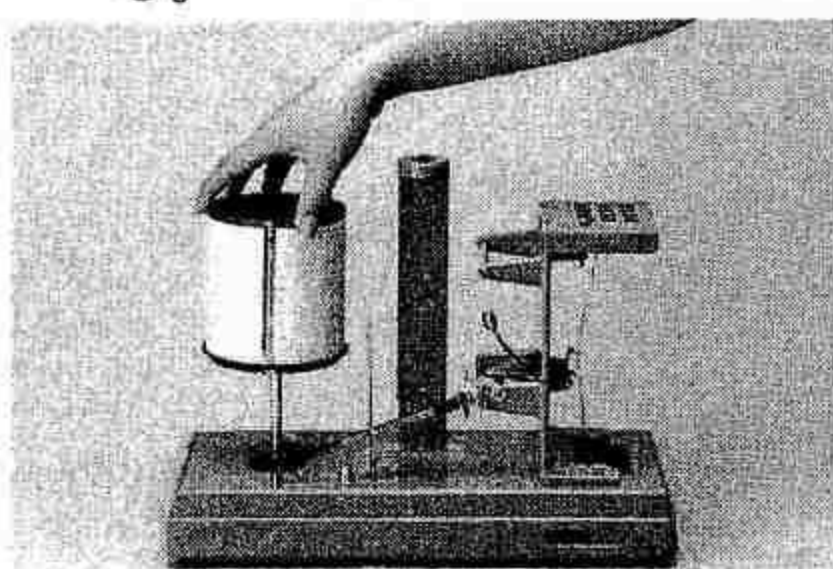
8. 用紙押えをはずす。



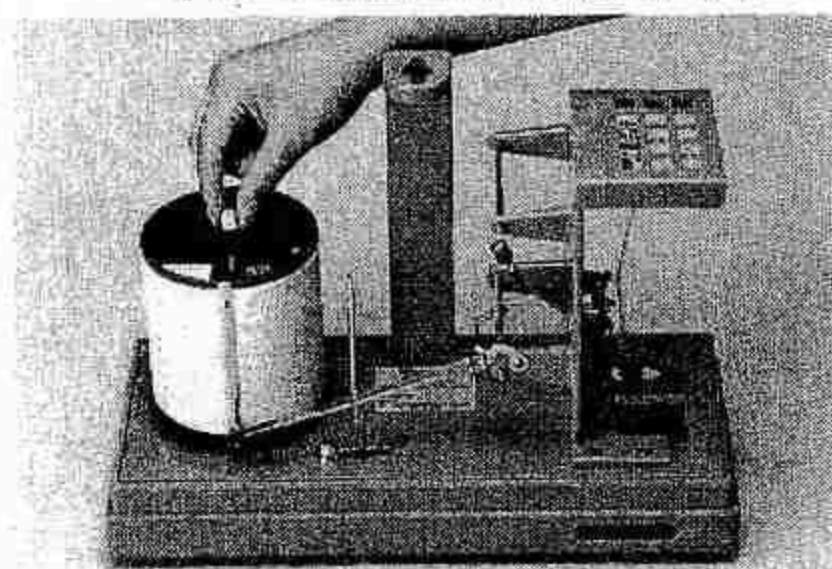
9. 記録紙を交換する。



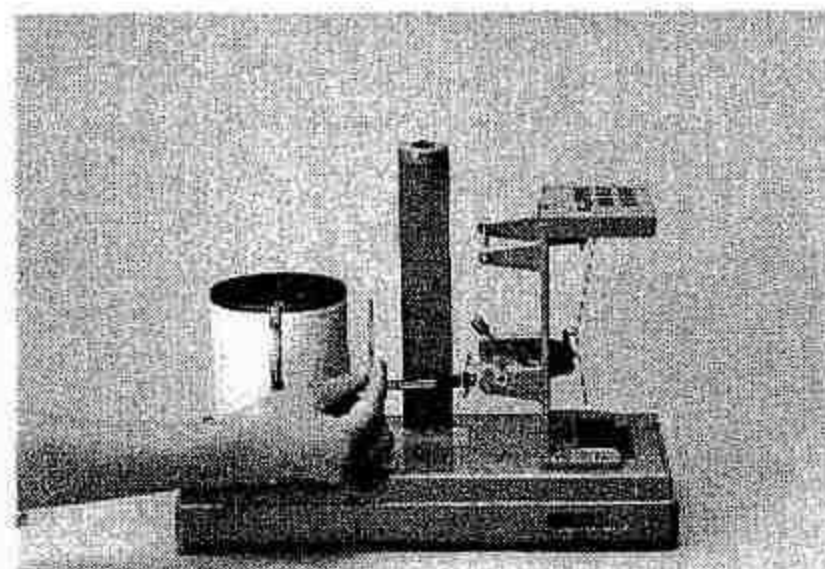
10. 用紙押えを取り付ける。



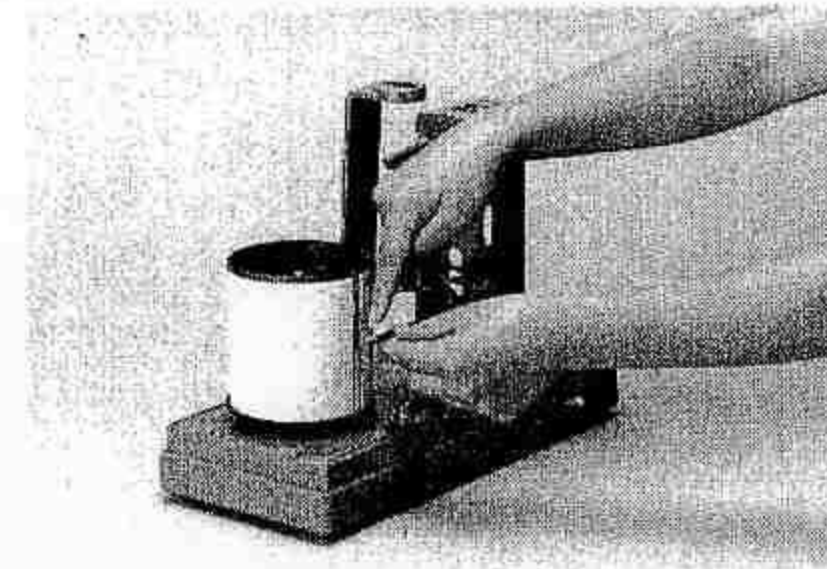
11. 円筒時計を取り付ける。



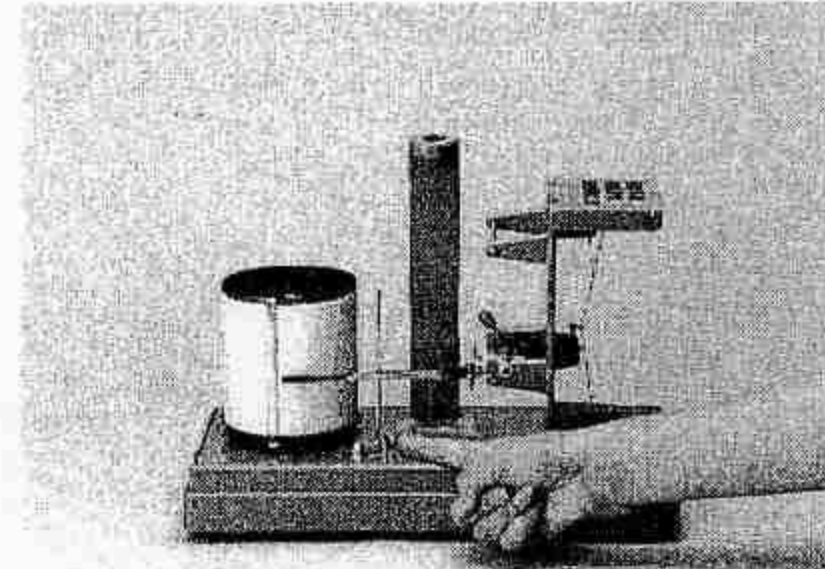
12. 円筒押えネジを取り付ける。



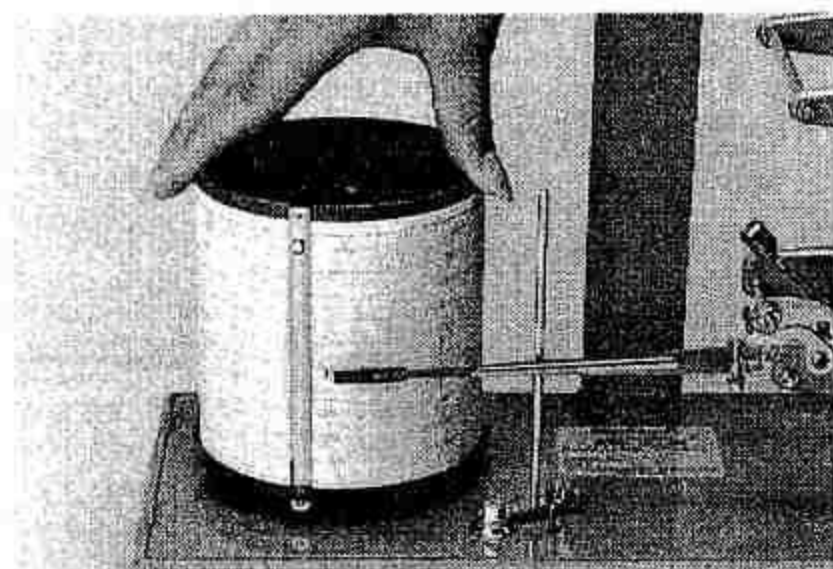
13. ペン押え金具を上を持ち上げてははずす。



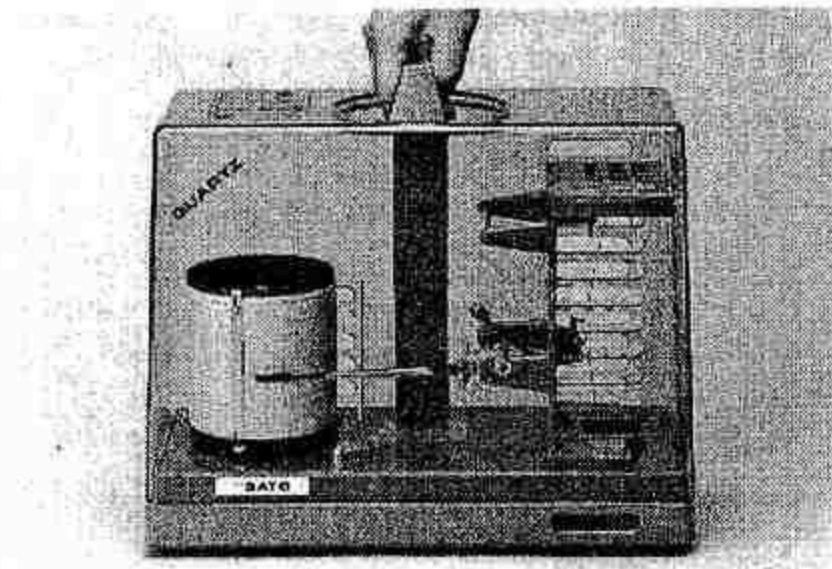
14. カートリッジペンのキャップを左に回しながらはずす。



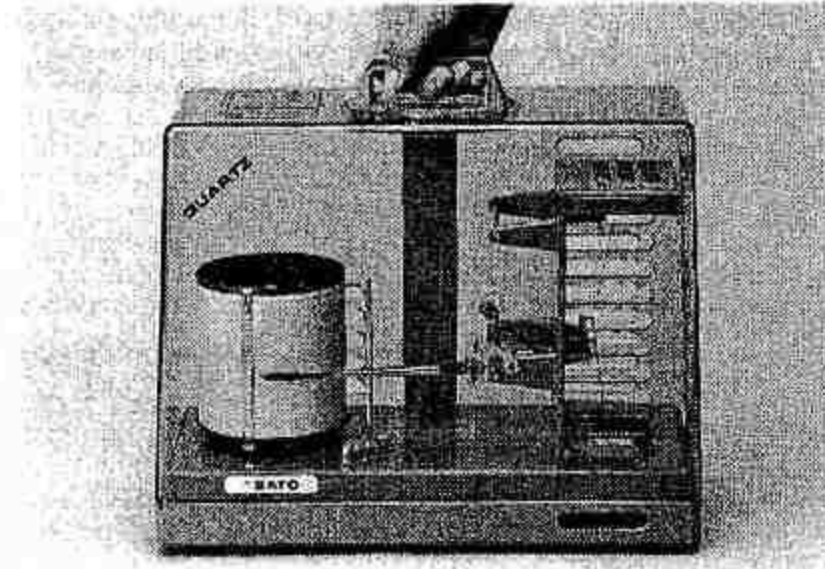
15. ペン上げツマミを向こう側に、止まるまで押す。



16. 時間を合わせる。



17. キャリングハンドルを、正面にまっすぐ向けて、ケースを確実に取り付ける。



18. キャリングハンドルを右に、止まるまで回す。

●注意事項

1. 電池について

- 電池は単2乾電池(1.5V) 2本を使用し⊕⊖をまちがえないようにして所定の場所へ確実に入れてください。
- 電池は1年毎に交換してください。(7日用でご使用の場合)

2. カートリッジペンについて

- ペン先には指を触れないよう注意してください。(脂肪分でインクの出が悪くなります。)
- カートリッジペンは約1年間交換不要ですが使用条件により持続時間が短くなることもあります。(例：温度20℃、湿度30%で連続使用した場合ほぼ3か月)

3. 記録紙の交換

- 記録紙を円筒時計に巻く時は、スタート側の端を下にして重ね合わせてください。
- 重ね目が円筒時計上部の用紙押えを固定するための凹み部分に一致するように位置を合わせてください。
- 記録紙の下端は円筒時計のつばにきちんと合わせてください。

4. 時間の合わせ方

- 円筒時計を始めに右に回し、現在時刻より数時間進んだ時刻の位置で止めます。次に左に回しながら現在時刻に合わせます。こうすると歯車の遊びが無くなり、正しく時間を合わせることができます。(手順をまちがえますと時間遅れの原因となりますのでご注意ください。)

5. ケースの取り付け

- ケースはSK SATO のプレートが前にくるようにし、通風孔が向かって右側になるように取り付けてください。

●設置場所

次のような場所を避けてご使用ください。

- 直射日光が当たる所
- ストーブや温風機など、熱風や熱が当たる所
- 火気に近い所
- シンナーやアンモニアまた、スプレー等を使用する所
- 塵埃の多い所

●その他の注意事項

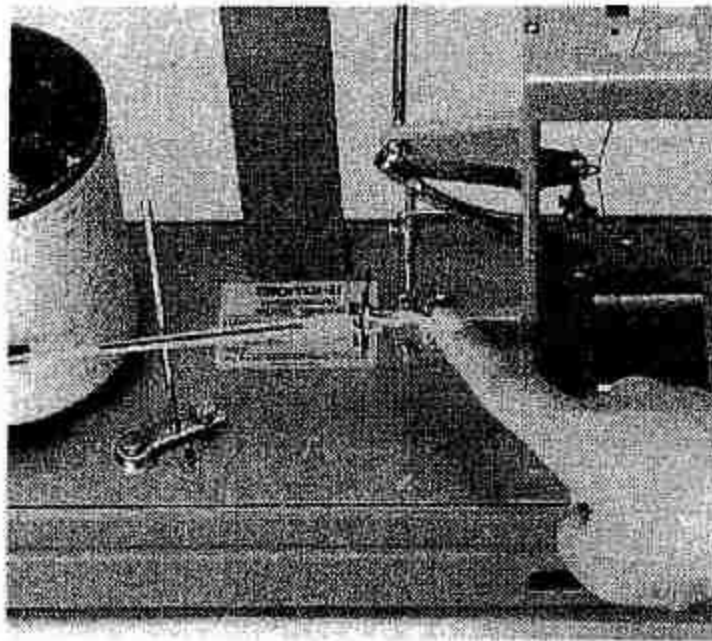
- 記録紙及びカートリッジペンは、必ず、当社指定のものをご使用ください。記録紙はカートリッジペン用として、当社が特に厳選した純正記録紙です。補充の場合は「SK純正」と、必ず、指定してください。この純正記録紙以外の記録紙をご使用になりますと、インクの消費も早く、鮮明に記録できない事があります。また、カートリッジペンが短期間で書けなくなるなどのクレームに対しても保証いたしかねますのでご注意ください。
- 万一故障の場合、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店又は当社に修理をご依頼ください。特に円筒時計は特殊な時計を使用しておりますので、家庭用の時計と同様の修理はできません。もし手を加えられますと修理不能となる場合があります。

●示度の調整

示度の微調整ができますが、必要なとき以外のご使用は避けてください。微調整を行なう場合は、ペンアームの元にある微調整ネジを、右に回すと示度は低くなり、左に回すと高くなります。(⊖ドライバーを使うと、より正確に、スムーズに合わせることができます。)

調整する場合は、測定場所に30分以上置いてから、信頼できる計器に合わせて調整してください。

〈微調整〉



● バッテリーチェック

・円筒時計

円筒時計上部に、バッテリーチェッカーと、作動を確認できるLEDランプが設けてあります。

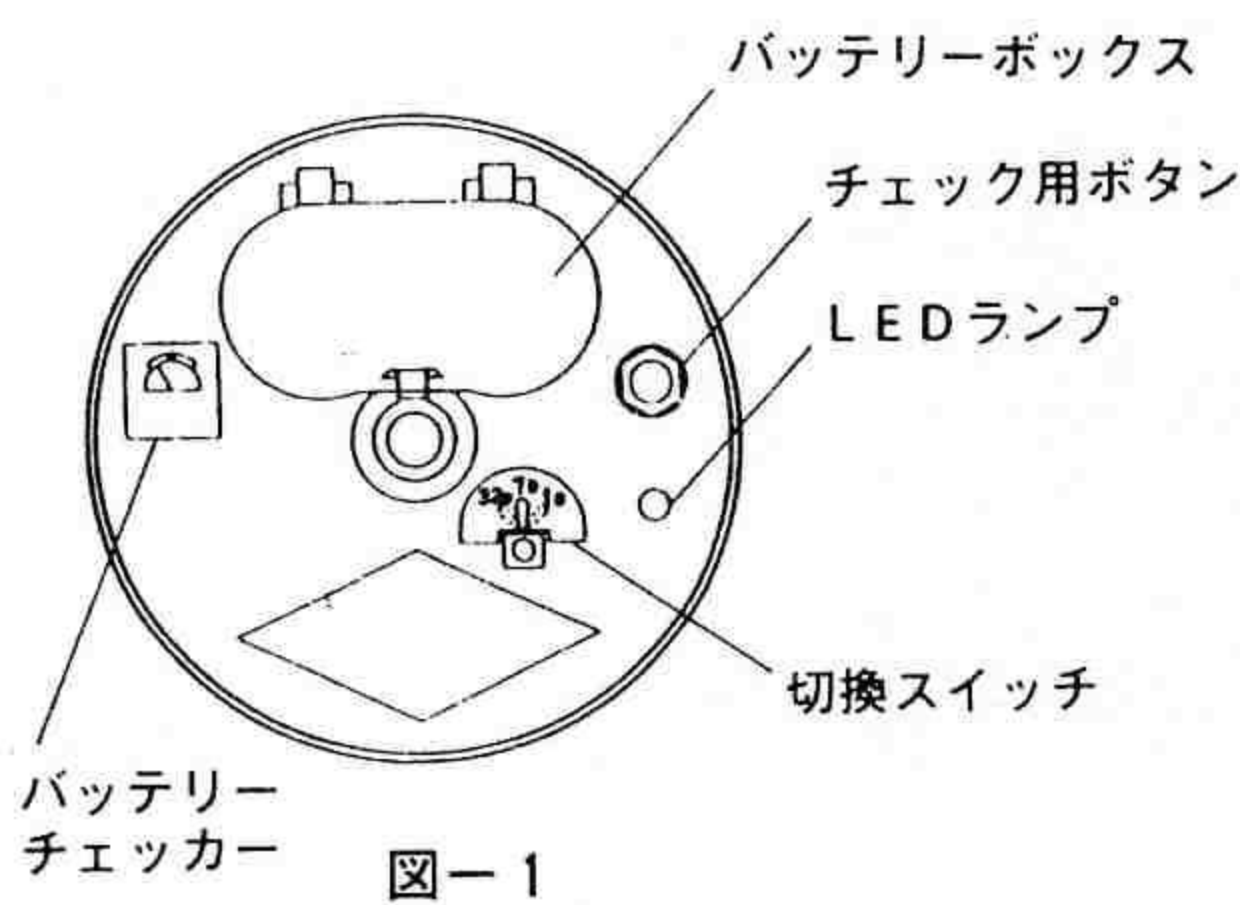


図-1

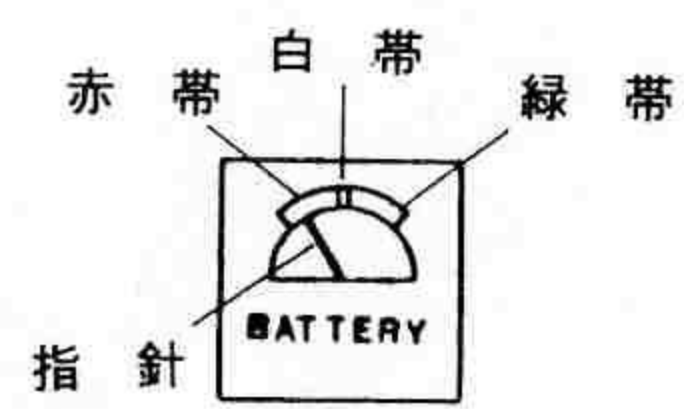


図-2 バッテリーチェッカー

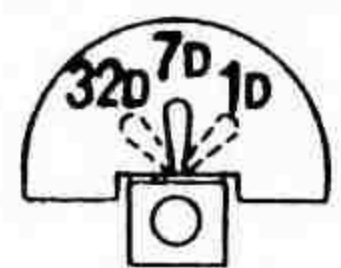


図-3 切換スイッチ

・バッテリーチェックの方法

電池の状態を、バッテリーチェッカーで、定期的を確認してください。

図1の「チェック用ボタン」を押し、指針の示す位置で判断します。判断基準は次の通りです。

1. 指針が緑帯を示す時……良好状態(1.4~1.6V)
2. 指針が中央の白帯を示す時……使用限界状態(約1.3V) 電池を用意してください。
3. 指針が赤帯を示す時……不良状態(1.3V未満) 電池を新品と交換してください。

(図2参照)

・作動確認

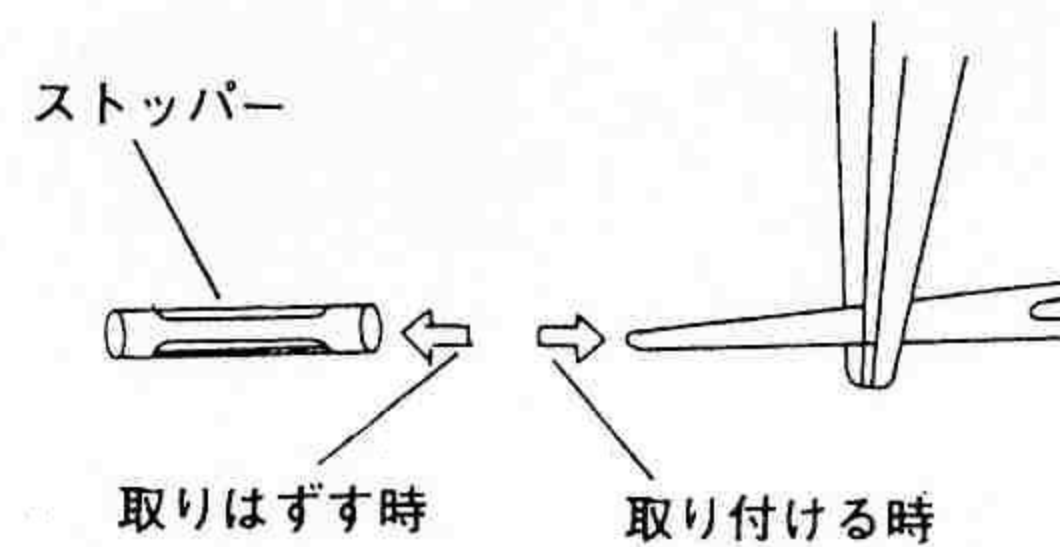
円筒時計は、電池を入れると直ちに作動を開始します。

図1の「LEDランプ」が点滅していることを確認してください。

● カートリッジペンの交換

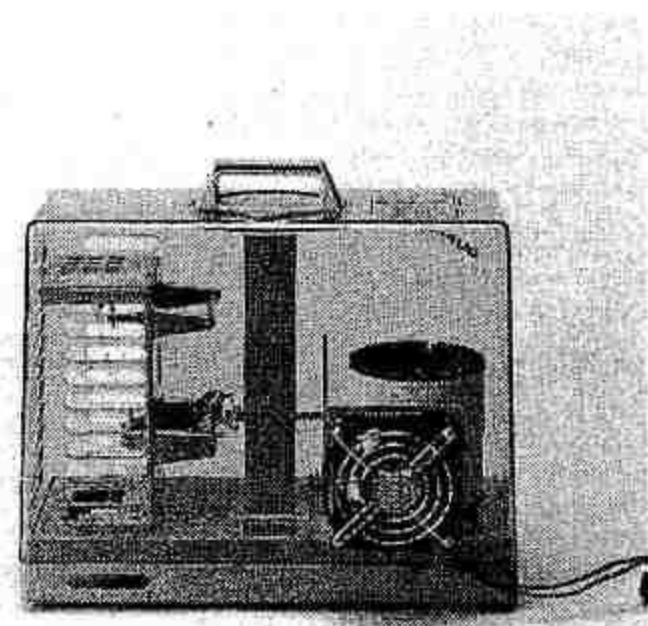
カートリッジペンを取りはずす時は、ペンアームを手で押え、矢印の方向へ引張ってください。万一かたい場合はラジオペンチ等でペンアームを押えてください。(ペンアームを押える場合は、できるだけカートリッジペン寄りを押えてください。)

ペンアームに、カートリッジペンを取り付ける時は、先端がストッパーに当たるまで差し込んでください。



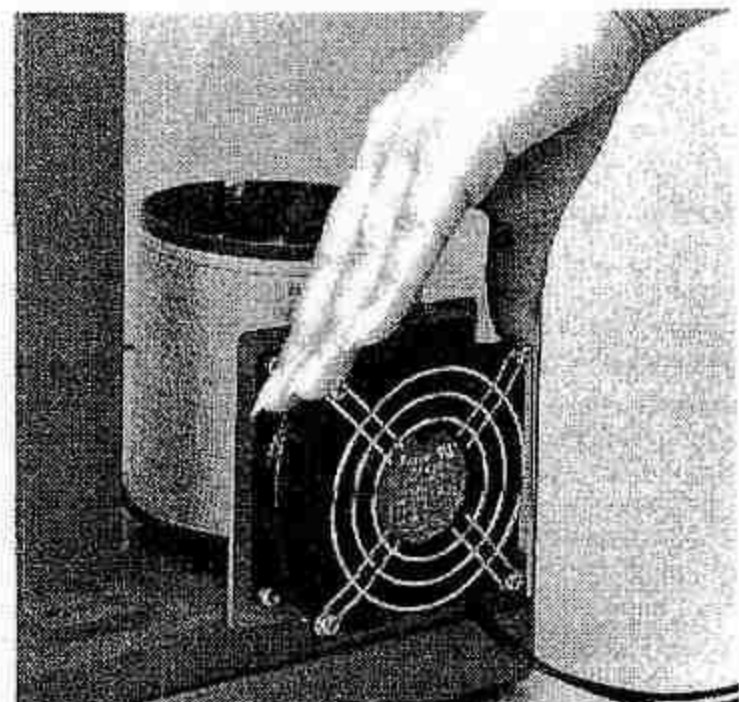
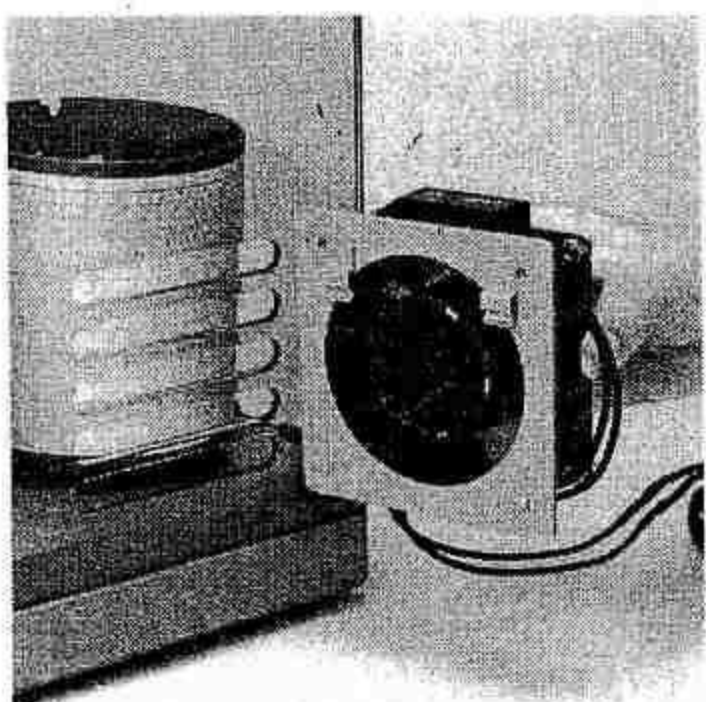
●外部取り付け誘引ファン（別売オプション）

- 外部取り付け誘引ファンはオプションです。外気を積極的に本体内に導入しますので、高い応答性と精度の向上を計れます。特に空気還流の少ない場所でのご使用をお勧めします。



●外部取り付け誘引ファンの取り付け方

- ファン取り付けバネが、ケースの通風孔の一番上に、ストッパービスが一番下に入るように押し付ける。
- そのまま下にスライドさせ、ストッパービスが当たったところで止める。
- 差し込みプラグをコンセントに差し込む。



●1日用、32日用としてご使用になる場合

工場出荷時、切換スイッチは7日用に設定されています。1日用、または32日用としてご使用になる場合、円筒時計上部の切換スイッチを1日、あるいは32日に設定してください。

(P.3 図-1,3)

また、記録紙を別途購入し、交換してください。

1日用記録紙（1冊400枚入）No.7234-60

32日用記録紙（1冊55枚入）No.7234-64

なお、標準付属品として、7日用記録紙（1冊55枚入）が付いています。

仕 様

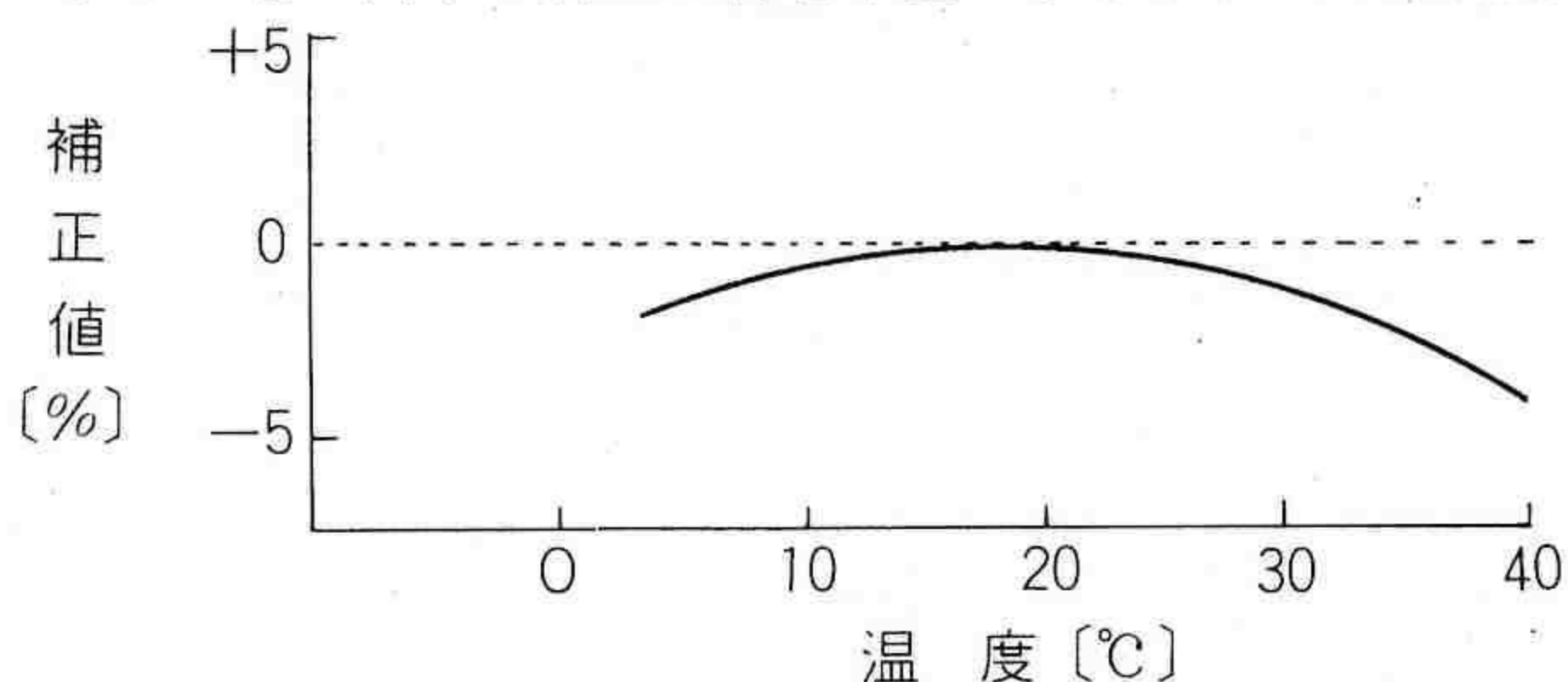
型 式	No.7234-00
モデル名	NS II-HQ
時 計	クォーツ式1.7.32日切替え 単2乾電池(1.5V)2本使用 電池寿命1年(7日の場合)
測定範囲	0~100%
精 度	±3%
記録紙最小目盛り	1%
本体サイズ 重 量	336(W)×148(D) ×295(H) mm 約2.9kg
付 属 品	7日用記録紙55枚(1年分)×1冊 記録紙保管用バインダー×1 取扱説明書×1冊 単2乾電池×2本

※ 仕様は改良のため予告なく変更する事があります。

- 消耗品 7234-60 1日用記録用紙 (400枚×1箱)
 7234-62 7日用記録用紙 (55枚×1箱)
 (7日用は付属品として本体に1箱付いています。)
 3709 カートリッジペン (紫) (10本×1箱)

温度補正

本器の湿度測定は、毛髪が湿度により伸縮する性質を利用しています。
 毛髪は湿度だけでなく温度によっても多少伸縮することが知られており、正確な湿度測定には温度補正が必要です。
 シグマIIに対する補正曲線を下図に示しますのでご利用ください。



保証規定

- ①説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げ後1年間、無料で修理、又は交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- ②修理の必要が生じた場合は、製品に本証を添えて、お買い上げ店または、当社もよりの営業所へご持参またはご送付ください。
- ③保証期間でも次の場合は有料修理になります。
 - イ. 誤用・乱用および取り扱い不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害および盗難等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ニ. 使用中に生じたキズなどの外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - ヘ. 本証の提示がない場合および必要事項 (お買い上げ日、販売店名等) の記入がない場合
- ④二次的損害につきましては、保証いたしかねます。
- ⑤本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので、大切に保管ください。

品質保証書

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入の上本器の最終御使用者のお手許に保管をしてください。

※保証内容につきましては左記の規定をご覧ください。

品名 シグマII型湿度記録計 型式 NSII-HQ 製品No.7234

※ご芳名

※ご住所

※TEL ()

●以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいでください。

お買い上げ店名

ご住所

TEL ()

お買い上げ年月日 年 月 日

SK 株式会社 佐藤計量器製作所

〒101 東京都千代田区神田西福田町3番地
 ☎03-254-8111(大代) FAX番号 03-254-8119

●湿度

正しい値 (%)	90	60	30	
許容誤差 (%)	±3.0	±3.0	±3.0	

※ 90,60,30(%)の順に測定

湿度計は当社検査規定に依り±3%の許容誤差の範囲に入っています。

依って本自記湿度計は当社の検査に合格した事を証明致します。

SK 株式会社 佐藤計量器製作所

本社 東京都千代田区神田西福田町3番地

TEL.03-254-8111大代表 〒101 90.9 (KO)

【ご使用上の注意】

※対象製品：シグマⅡ温湿度計・温度計・湿度計・気圧計、キューブ、スター開梱時に
下記の手順で円筒下部の白パッキン(PE)及びペンアーム止め金具、紙テープ、カム
押えダンボールを取りはずしてください。

- 1：本体のカバーを取りはずしてください。
- 2：円筒軸上部のナットを反時計方向に手で回してはずしてください。
- 3：円筒を上引き抜いてください。
- 4：本体ベース上に振れ止め防止用の白パッキン(PE)が2個ありますので
それを取り外してください。(パッキンは大切に保管してください。
本体の移動時に再利用してください)
- 5：ペンアーム止め金具及び紙テープ、カム押さえダンボールを取りはずしてください。
- 6：円筒にチャート紙を取り付けて、円筒軸に差し込んでください。この時、
円筒と軸のギヤが噛み合うように円筒を回転させて取り付けてください。
- 7：円筒軸のナットを取り付けてください。

(株) 佐藤計量器製作所
東京工場 品質保証課

P1. 3. 輸送用固定スチロールをはずす。 【誤】



3. 輸送用固定ダンボールをはずす。 【正】